

2022 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
------	-----------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヶ年)および 2022 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。なお、2022 年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式 B に記述のうえ提出してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域である文化遺産防災学を創発し、これに関する研究・教育・社会連携、さらには情報基盤の拠点形成を目標に据えた活動を継続的に実施した。以下、具体的な成果を活動項目毎に要約する。

- ①【歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会】歴史文化都市の将来の災害リスクを明らかにし、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していく。歴史文化都市の「時空間 GIS」「記憶地図」「人の流動」「歴史文化遺産の人災・獣害」「空間評価とデザイン」をテーマに掲げ、京都などの歴史都市や火災で焼失した復元遺産を含む文化遺産を主な対象に、古文書や絵図、修理報告書のアーカイブにくわえて、定型的・非定型的の両面で大規模かつ動的な時空間情報を活用するとともに、多様な側面からの歴史災害都市研究ならびに歴史都市の将来に関するジオデザインに活用するための情報基盤整備と地理空間評価の手法開発を継続した。
- ②【歴史文化都市の防災技術研究部会】「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市・地域の防災技術を確立すること目的に、文化遺産防災技術に関連する研究活動を継続的に発展させて、(1) 歴史的な文化財建造物の耐震補強・改修技術の開発、(2) 歴史文化都市の防耐火システムと機器の開発、(3) 歴史文化地域の地盤環境を踏まえた防災技術の開発に関する研究を進めた。特に(3)については世界遺産・寺山炭窯跡の被災・復旧状況調査を実施した。
- ③【歴史文化都市の防災デザイン研究部会】上記①②の研究成果を統合し、実際に生きた歴史文化都市に実装するためには、受け継がれた地域環境とコミュニティ社会の特性とニーズに合った、「環境的・文化的に重要な空間を保全しつつ開発する」ための計画と政策が不可欠となる。地域固有の物理的・社会的・歴史的特性をデータ基盤により把握し、その特性分析により未来の減災の知恵と呼べる技術を抽出し、これを将来の地域環境と地域社会の時間軸上に実践的に位置づけようとする防災デザイン・コミュニティデザインの視点に立脚した取組みを行ない、一連の研究プロセスの総合化を担った。
- ④【国際展開・社会連携 研究支援プログラム】国際研修は、2022 年度は、コロナ禍から 2021 年度に引き続き、オンラインによる国際研修を実施とし、「文化遺産の防災における伝統的知恵」というサブテーマに特化した講義・フィールドワークビデオ・ワークショップ・グループディスカッション等を行った。63 名の応募者から 15 名を選抜して研修生とし、これにアソシエイトオブザーバー 6 名を加えた 21 名を対象に実施した。週ごとに設けられたテーマにそって毎回 2 時間 30 分のライブセッションを実施し、講義・質疑/ワークショップ、ディスカッションをおりまぜることで、研修生の主体的な参加を一層促した。また、講義のオンデマンドビデオ、フィールドワークのビデオの配信、講師による個別メンタリングセッションを設けるなど、研究・研修成果を高めるための工夫を様々に施した。本国際研修の研修生は母国の文化遺産あるいは歴史都市を対象地として選定し、研修中にその対象地に歴史的価値を継承しながらの防災計画策定を行い、研修後にはその計画を実施するパイロットプロジェクトにつなげることになっている。2022 年度の研修生の中でも複数の研修生が研修中に策定した防災計画の実践に向けて取り組んでいることの報告を受けている。文化遺産防災の人材育成という世界的ニーズへの貢献をより進めることができたと考えている。
- ⑤【研究所のその他主催事業等】研究所の柱となる年次事業として、まず、「第 16 回歴史都市防災シンポジウム」をオンライン(Zoom)で 7/24 に開催した。国内外から 150 名の参加し、計 26 件の研究発表が行われ活発な討議があった。次に、「立命館土曜講座」では「燃えやすい歴史都市を火災から守る」をテーマに公開講演会として市民向け講義を提供した。また、「定例研究会」を、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。さらに、研究成果発信として学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol.16」「京都歴史災害研究 第 24 号」を刊行した。加えて、地域社会への貢献を目指した事業である「第 16 回地域の安全安心マップコンテスト」では 39 件の応募があり、この内から 10 件を入賞作品として表彰した。また、上位 7 件については、第 26 回全国児童生徒地図作品展へ出展した。創意工夫を凝らした作品が全国から寄せられ、社会的な認知を着実に広めつつある。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2023年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	花岡 和聖	文学部人文学科（地域研究学域）	准教授
運営委員	青柳 憲昌	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	大窪 健之	理工学部建築都市工学科	教授
	大場 修	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員（教授）
	小川 圭一	理工学部環境都市工学科	教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部政策科学科	教授
	河角 直美	文学部人文学科（地域研究学域）	准教授
	金 度源	理工学部環境都市工学科	准教授
	SHAKYA Lata	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員（教授）
	豊田 祐輔	政策科学部政策科学科	准教授
	藤本 将光	理工学部環境都市工学科	准教授
	深川 良一	理工学部	特命教授
	村中 亮夫	文学部人文学科（地域研究学域）	准教授
	矢野 桂司	文学部人文学科（地域研究学域）	教授
	吉富信太	理工学部建築都市デザイン学科	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	阿部 俊彦	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	泉 知論	理工学部電子情報工学科	教授
	岡井 有佳	理工学部環境都市工学科	教授
	川崎 佑磨	理工学部環境都市工学科	准教授
	神田 孝治	文学部人文学科（地域研究学域）	教授
	北本 英里子	理工学部建築都市デザイン学科	初任助教
	金 侖美	総合科学技術研究機構	助教
	木村 智	理工学部建築都市デザイン学科	講師
	小林 泰三	理工学部環境都市工学科	教授
	桜井 政成	政策科学部政策科学科	教授
	里深 好文	理工学部環境都市工学科	教授
	高橋 学	文学部人文学科（地域研究学域）	特任教授

		寺床 幸雄	文学部人文学科（地域研究学域）	准教授
		仲谷 善雄	情報理工学部情報理工学科	教授
		夏目 宗幸	文学部人文学科（地域研究学域）	特任助教
		狭間 恵三子	衣笠総合研究機構	教授
		平尾 和洋	理工学部建築都市デザイン学科	教授
		福水 洋平	理工学部電気電子工学科	准教授
		福山 智子	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
		本間 睦朗	理工学部建築都市デザイン学科	教授
		前田 一馬	文学部地域研究学域	特任助教
		宗本 晋作	理工学部建築都市デザイン学科	教授
		持田 泰秀	理工学部建築都市デザイン学科	教授
		山崎 有恒	文学部人文学科（日本史研究学域）	教授
		山田 悟史	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
		山本 理佳	文学部人文学科（地域研究学域）	教授
		SAUCEDO Daniel	政策科学部政策科学科	准教授
学内の若手研究者	① 専門研究員 研究員 初任研究員	宮崎 彩	衣笠総合研究機構	専門研究員
		李 敏	衣笠総合研究機構	専門研究員
	② リサーチアシスタント			
	3. 大学院生	清水 裕朗	文学研究科	博士課程前期課程
		八巻 栞	文学研究科	博士課程前期課程
		永松 天騎	文学研究科	博士課程前期課程
		村岡 勇氣	理工学研究科	博士課程前期課程
		北村 奈都樹	理工学研究科	博士課程前期課程
		広瀬 憲吾	理工学研究科	博士課程前期課程
		富村 郁斗	理工学研究科	博士課程前期課程
		芳田 知紀	理工学研究科	博士課程前期課程
		傍島 靖葉	理工学研究科	博士課程前期課程
		國弘 朝葉	理工学研究科	博士課程前期課程
		濱田 千織	理工学研究科	博士課程前期課程
		牧田 竜明	理工学研究科	博士課程前期課程
		古荘 衣理	理工学研究科	博士課程前期課程
		佐藤 俊	理工学研究科	博士課程前期課程
		山際 綾	理工学研究科	博士課程前期課程
瀬沼 駿	理工学研究科	博士課程前期課程		
青山 柊	理工学研究科	博士課程前期課程		
比果 未穂子	理工学研究科	博士課程前期課程		
竹中 健太	理工学研究科	博士課程前期課程		
中村 宣彬	理工学研究科	博士課程前期課程		
浅海 悠人	理工学研究科	博士課程前期課程		

岡村 泰誠	理工学研究科	博士課程前期課程
宮内 祐弥	理工学研究科	博士課程前期課程
成田 舜人	理工学研究科	博士課程前期課程
千葉 陵平	理工学研究科	博士課程前期課程
窪津 俊亮	理工学研究科	博士課程前期課程
長谷川 諒	理工学研究科	博士課程前期課程
松本 昂大	理工学研究科	博士課程前期課程
坂本 賢矢	理工学研究科	博士課程前期課程
喜多 孝輔	理工学研究科	博士課程前期課程
桑野 稜市	理工学研究科	博士課程前期課程
廣山 達哉	理工学研究科	博士課程前期課程
HUANG Yuezhou (黄月州)	理工学研究科	博士課程前期課程
WANG Baichuan (王百川)	理工学研究科	博士課程前期課程
宮原 陽海	理工学研究科	博士課程前期課程
田川 龍	理工学研究科	博士課程前期課程
白野 裕之	理工学研究科	博士課程前期課程
阿部 友貴	理工学研究科	博士課程前期課程
遠藤 慧人	理工学研究科	博士課程前期課程
窪津 俊亮	理工学研究科	博士課程前期課程
三反畑 慶	理工学研究科	博士課程前期課程
山元 遼太	理工学研究科	博士課程前期課程
寺本 昌太	理工学研究科	博士課程前期課程
田中 宏輝	理工学研究科	博士課程前期課程
濱荻 晋太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
上田 圭太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
西岡 里美	理工学研究科	博士課程前期課程
藤木 大真	理工学研究科	博士課程前期課程
饗庭 優樹	理工学研究科	博士課程前期課程
嶋津 祐哉	理工学研究科	博士課程前期課程
本田 暁彦	理工学研究科	博士課程前期課程
山田 迪与	理工学研究科	博士課程前期課程
Rafiullah Rahimi	理工学研究科	博士課程前期課程
山田 迪与	理工学研究科	博士課程前期課程
西村 翔太	理工学研究科	博士課程前期課程
矢野 隆宏	理工学研究科	博士課程前期課程
辻川 愛	理工学研究科	博士課程前期課程
浦長瀬 大世	理工学研究科	博士課程前期課程
竹下 耕樹	理工学研究科	博士課程前期課程
水野 仁	理工学研究科	博士課程後期課程

遠藤 優斗	理工学研究科	博士課程前期課程
Ahmad Fahim Gulzada	理工学研究科	博士課程前期課程
Muhammad Karim Ahmadzai	理工学研究科	博士課程前期課程
Shafiqullah Noori	理工学研究科	博士課程前期課程
高部 航南	理工学研究科	博士課程前期課程
中野 紗希	理工学研究科	博士課程前期課程
山本 理央	理工学研究科	博士課程前期課程
福本 真史	理工学研究科	博士課程前期課程
XU Haigen	理工学研究科	博士課程前期課程
浅原 陸人	理工学研究科	博士課程前期課程
青山 剛士	理工学研究科	博士課程前期課程
石井 美優	理工学研究科	博士課程前期課程
櫻田 留奈	理工学研究科	博士課程前期課程
中川 遼	理工学研究科	博士課程前期課程
中田 洋誠	理工学研究科	博士課程前期課程
中西 達也	理工学研究科	博士課程前期課程
中山 翔貴	理工学研究科	博士課程前期課程
林 嵩之	理工学研究科	博士課程前期課程
阪口 元貴	理工学研究科	博士課程前期課程
松野 泰己	理工学研究科	博士課程前期課程
飯島 康平	理工学研究科	博士課程前期課程
神原 夏徳	理工学研究科	博士課程前期課程
久保 将己	理工学研究科	博士課程前期課程
岡崎 輝一	理工学研究科	博士課程前期課程
井上 悟郎	理工学研究科	博士課程前期課程
澤 亜美	理工学研究科	博士課程前期課程
小池 侑暉	理工学研究科	博士課程前期課程
寺田 壮志	理工学研究科	博士課程前期課程
松井 華波	理工学研究科	博士課程前期課程
森本 龍	理工学研究科	博士課程前期課程
和田 健吾	理工学研究科	博士課程前期課程
眞庭 颯大	理工学研究科	博士課程前期課程
原田 真衣	理工学研究科	博士課程前期課程
小池田 樹	理工学研究科	博士課程前期課程
越智 広樹	理工学研究科	博士課程前期課程
広中 翔	理工学研究科	博士課程前期課程
荒井 勇哉	理工学研究科	博士課程前期課程
柴田 拓海	理工学研究科	博士課程前期課程
谷川 奈央	理工学研究科	博士課程前期課程
東田 陽樹	理工学研究科	博士課程前期課程
ZHANG Zhongming	理工学研究科	博士課程前期課程

	高尾 詢一郎	理工学研究科	博士課程前期課程
	星山 和輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	中本 蒼馬	理工学研究科	博士課程前期課程
	北地 水砂騎	理工学研究科	博士課程前期課程
	岡尾 宗一郎	理工学研究科	博士課程前期課程
	大井 勇人	理工学研究科	博士課程前期課程
	太田 大貴	理工学研究科	博士課程前期課程
	樋口 敬治	理工学研究科	博士課程前期課程
	米沢 美紅	理工学研究科	博士課程前期課程
	TIAN Ye	政策科学研究科	博士課程前期課程
	加減 航	政策科学研究科	博士課程前期課程
	鰐部 貴之	政策科学研究科	博士課程前期課程
	SANDRINA Fera	政策科学研究科	博士課程前期課程
	ESTRADA HERNANDEZ Brandon Eduardo	政策科学研究科	博士課程前期課程
	常木 佳奈	文学研究科	博士課程後期課程
	印牧 真明	文学研究科	博士課程後期課程
	武内 樹治	文学研究科	博士課程後期課程
	QIN Xin	理工学研究科	博士課程後期課程
	大西 功	理工学研究科	博士課程前期課程
	Hamid Nikzad	理工学研究科	博士課程前期課程
	清水 泰有	政策科学研究科	博士課程後期課程
	留野 僚也	政策科学研究科	博士課程後期課程
	遠藤 祐太郎	理工学研究科	博士課程後期課程
③ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)			
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	白石 陽子	衣笠総合研究機構	補助研究員
	林 祐妃	衣笠総合研究機構	補助研究員
	山本 峻平	文学研究科	研修生
客員協力研究員	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー
	松浦 晃一郎	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー
	安本 晋也	中部大学 中部高等学術研究所	講師
	宇佐美 智之	京都芸術大学 芸術学部歴史遺産学科	講師
	益田 兼房	衣笠総合研究機構	客員研究員
	岡田 篤正	京都大学	名誉教授
	郭 凱鴻	大阪商業大学 JGSS 研究センタ ー	研究員
	梶 秀樹	(一社)地域防災支援協会 ／筑波大学	理事 ／名誉教授

	丸岡 稔典	名古屋産業大学	特任講師
	岩本 葉子	京都芸術大学 ／京都外国語短期大学	非常勤講師 ／非常勤講師
	宮崎 洋司	(株)プラス社会計画センター	所長
	桐村 喬	皇學館大学 文学部	准教授
	古川 愛子	京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻	准教授
	高橋 暁	ユネスコ・アラブ諸国科学技術 地域事業所	文化担当官
	高橋 彰	大阪大学 サイバーメディアセンター	特任助教（常勤）
	今村 聡	(株)キャドセンター	職員
	佐藤 英佑	(株)佐藤建築設計	代表取締役
	佐藤 貴史	北海学園大学 人文学部	教授
	山崎 文雄	千葉大学大学院 工学研究科	名誉教授
	山本 由美子	コルゲート大学 教養学部	講師
	手塚 薫	北海学園大学 人文学部	教授
	酒井 宏平	城西大学 現代政策学部	助教
	小山田 晋	北海道大学 農学部	研究員
	城月 雅大	名古屋外国語大学 現代国際学部	准教授
	植村 善博	佛教大学	名誉教授
	森 清顕	清水寺	執事補
	森下 雄治	森下漆器(株)	代表取締役
	森田 耕平	(公財)利用運送振興会	職員
	神戸 啓	うさぎのアトリエぴよんぴよ こぴよん京 ／先斗町まちづくり協議会	代表 ／副会長兼事務局長
	神田 隆男	丸軒企業有限公司	京都支店長
	星野 安治	国立文化財機構 奈良文化財研究所年代学研究室	室長
	青木 和人	あおき地理情報システム研究 所	代表
	石橋 健一	愛知学院大学 総合政策学部	教授
	石原 凌河	龍谷大学 政策学部	准教授
	石田 優子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所 地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野	教授

	大岡 優	都城工業高等専門学校 建築学科	准教授
	大橋 弘明	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部	准教授
	大槻 知史	高知大学 総合科学系地域協働教育学部 門	准教授
	大邑 潤三	東京大学地震研究所	助教
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室 (TASS Design Institute)	主宰
	谷端 郷	北海学園大学 人文学部 日本文化学科	講師
	中谷 友樹	東北大学大学院 環境科学研究科	教授
	田中 哮義	京都大学	名誉教授
	島本 多敬	琵琶湖博物館	学芸員
	板谷 直子	京都市元離宮二条城保存整備 委員会委員、京都市文化財公開 施設保存活用検討委員会委員 ／国立大学法人奈良女子大学 非常勤講師	各委員 ／非常勤講師
	樋本 圭佑	国土交通省 国土技術政策総合研究所	主任研究官
	武田 史朗	千葉大学大学院 園芸学研究院	教授
	福山 大典	(株)アイエス工業所	取締役
	米島 万有子	熊本大学大学院 人文社会科学部	准教授
	北原 糸子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	矢尾田 清幸	沖縄県土地改良事業団体連合 会	参事兼総務企画課長
	林 倫子	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科	准教授
	冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文 庫	理事長
	鈴木 祥之	京都大学	名誉教授
	和泉 潤	元 名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部	特任教授
	壽崎 かすみ	龍谷大学 国際学部	准教授
	崔 明姫	豊橋技術科学大学 都市システム学系	助教
	高松 正彦	(一財)日本緑化センター	緑化事業部長
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅	学芸員

	DENPAIBOON Chaweewan	チュラロンコン大学 建築学部	准教授
	JIGYASU Rohit	Project Manager	ICCROM
	RIZZI Paola	サッサリ大学 都市建築デザイン学部	教授
その他の学外者	Joseph Allan KING	ICCROM	Director of Partnership and Communication
	Aparna Tandon	ICCROM	Project Manager of Collection Unit
	Kaori KAWAKAMI	Emergency preparedness and response Unit (CLT/EPR), Culture Sector, UNESCO	Chief
	Sophie ABRAHAM	Emergency preparedness and response Unit (CLT/EPR), Culture Sector, UNESCO	Associate Coordination Officer
	Wesley CHEEK	Edge Hill University	Lecturer
	Lee BOSHER	Loughborough University	Professor
	Ksenia CHMUTINA	Loughborough University	Associate Professor
研究所・センター構成員 計 240 名 (うち学内の若手研究者 計 129 名)			

Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2023年3月31日時点)
また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	阿部俊彦	2050年のスポーツ (スポーツが変わる未来/変える未来)	共著	2022年6月	晃洋書房	一般社団法人スポーツと都市協議会 監 伊坂 忠夫 編著 花内 誠 編著	
2	大窪健之	文化遺産防災 (13章 自然災害に対する人文・社会科学的アプローチ)	分担執筆	2022年1月	丸善出版『自然災害科学・防災の百科事典』		588-591
3	大窪健之	10章「ネパール・パタンの歴史地区 - 震災後の住民へのヒアリング調査から」、ほかコラム	分担執筆	2022年8月	新曜社『文化遺産と防災のレッスン-レジリエントな観光のために』		132-145
4	大場 修	くらしの景観 日本と中国の集落	共著	2022年3月	臨川書店	奥谷三穂他1名編	167-195
5	岡井有佳	近代建築法制100年 市街地建築物法適用六大都市の都市形成と法制度	共著	2022年10月	技報堂出版	日本建築学会編	

6	鐘ヶ江秀彦	第9章災害・安全とサステナビリティ、 「SDGs 時代におけるサステナビリティ学」	単著	2022年3月	2022年3月	周 瑋生編・鐘ヶ江秀彦著	第9章/15章 (191頁)
7	河角直美	おいしい京都学—料理屋文化の歴史地理	共著	2022年11月	ミネルヴァ書房	加藤政洋・河角直美	
8	神田孝治	よくわかる観光コミュニケーション論	分担執筆	2022年3月	ミネルヴァ書房	須藤廣・遠藤英樹・高岡文章・松本健太郎編(担当: 神田孝治「空間」、「『Pokémon GO』」)	32-33, 190-191
9	神田孝治	フィールドワークの現代思想—パンデミック以後のフィールドワーカーのために	分担執筆	2022年4月	ナカニシヤ出版	遠藤英樹編(担当: 神田孝治[あわいから問うフィールド—COVID-19を契機としたフィールドワーク再考])	77-90
10	小林泰三	土質試験—基本と手引き— (第三回改訂版)	共著	2022年	地盤工学会	「土質試験—基本と手引き—」改訂編集WG	
11	桜井政成	人口減少社会の地域経営政策	共著	2022年7月	晃洋書房	川島典子	55-71 (第4章 地域経営におけるNPOおよび社会的企業の役割)
12	高橋学	中里遺跡の地形環境	単著	2022年12月	吉川弘文館	石川日出志ほか	137~139
13	寺床幸雄	諫早 (長崎県)	単著	2022年6月	『読みたくなる「地図」 地方都市編①』海青社	平岡昭利編	106-107
14	寺床幸雄	水俣 (熊本県)	単著	2022年6月	『読みたくなる「地図」 地方都市編①』海青社	平岡昭利編	116-117
15	寺床幸雄	農村における社会的結びつき	単著	2023年1月	『地理学事典』丸善出版	日本地理学会編	322-323
16	狭間恵三子	『増補改訂版 日本ボランティア・NPO・市民活動年表』	共著	2022年	明石書店	石田 易司、岡本 仁宏他	pp388~444
17	平尾和洋	構造デザインマップ関西	共著	2022年5月	総合資格	構造デザインマップ編集委員会	
18	福山智子	溶融亜鉛めっき鉄筋を用いた鉄筋コンクリート造建築物の設計・施工指針・同解説	分担執筆	2022年3月	日本建築学会	日本建築学会	
19	本間睦朗	「ふわとろ」から読み解く照明の着色	共著	2022年3月	照明知識	本間睦朗	p. 28
20	前田一馬	よくわかる観光コミュニ	分担	2022年3月	ミネルヴァ書房	須藤 廣, 遠藤英樹,	178-179

		ケーション論	執筆			高岡文章, 松本健太郎編	
21	村中亮夫	社会調査で描く日本の大都市	分担執筆	2022年2月	古今書院	埴淵知哉編	I-87~93
22	矢野桂司	Developing and Evaluating Virtual Heiankyō AR	分担執筆	2022年7月	SpringerYoshiki Wakabayashi and Takashi Morita, eds. Ubiquitous Mapping: Perspectives from Japan (Advances in Geographical and Environmental Sciences)	Keiji Yano, Satoshi Imamura, Dai Kawahara, Yousuke Shimomura, Osamu Furukawa	39-64
23	山崎有恒	『中川小十郎一修身立命の人生ー』	単著		2022年5月	金寿堂出版	山崎有恒
24	山本理佳	フィールドワークの現代思想ーパンデミック以後のフィールドワーカーのために	分担執筆	2022年4月	ナカニシヤ出版	遠藤英樹編	117-128
25	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	アンデス文明ハンドブック	分担執筆	2022年3月	臨川書店	関 雄二監修/山本睦・松本雄一編	p. 312-325
26	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Arqueologías Subalternas: Voces desde el Perú Pasado y Presente	分担執筆	2022年6月	Instituto Francés de Estudios Andinos (IFEA), Instituto Peruano de Estudios Arqueológicos (IPEA)	Tantaleán, H., Muro Yñonán, L. (Ed.)	p. 221-240
27	白石陽子	子どもの「幸せに生きる力」で社会を変えるーセーフスクールを通して安全力を育てるー	単著	2023年1月	月間日本教育 NO. 524 (令和5年1月号)	白石陽子	8-9頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	青柳憲昌	「法隆寺金堂壁構法の復元的考察」	共著	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』 2022年6月、pp. 361-364	青柳憲昌・林畝乃香		
2	青柳憲昌	「近世・近代の土蔵の外観と構法」	共著	2022年7月	『歴史都市防災論文集 Vol. 16』第16号	吉川奎・青柳憲昌	49-56	
3	青柳憲昌	「天明・元治大火前後における京都の町家の平面形式の変化」	共著	2022年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	村岡勇気・青柳憲昌	383-384	
4	青柳憲昌	「京都府亀岡市の酒井家住宅・廣瀬家住宅の建築的特徴」	共著	2022年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	北村奈都樹・青柳憲昌	381-382	

5	青柳憲昌	「構法史——いまつくるための建築史」	単著	2022年 9月	『構法史のアクチュアリテイ——構法と歴史から、いまつくることを考える（日本建築学会大会パネルディスカッション資料）』所収、日本建築学会建築計画委員会	青柳憲昌	24-29	
6	青柳憲昌	「京都西陣・旧吉澤家住宅の復元的考察」	単著	2022年 10月	日本建築学会『日本建築学会技術報告集』	青柳憲昌	1535 -1540	
7	阿部俊彦	話題カテゴリを用いた流域治水シナリオ作成ワークショップの分析ー歴史都市京都府亀岡市における保津川流域を事例としてー	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集	阿部俊彦、他6名		
8	阿部俊彦	災害復興における再建のための空き地から、平時の活動の場としての空地へ	共著	2022年 9月	日本建築学会 都市計画委員会 2022年度日本建築学会大会（北海道）都市計画部門 PD資料集 縮小時代における空き地活用の方法論	阿部俊彦		
9	大窪健之	歴史地区における豪雨災害に備えた避難所機能のニーズ評価ーマーケティング手法を用いた整備項目の評価と提案ー	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 vol. 16	大窪健之・福永靖史・金度源	113-120	
10	大場修	那須岳三斗小屋温泉大黒屋本館の復元的考察-湯の信仰にねざす山小屋建築	共著	2022年 2月	『日本建築学会技術報告集』第28巻 第68号	奥矢 恵, 大場 修	465-470	
11	大場修	出石伝統的建造物群保存地区における建築物の延焼脆弱性の定量化と二方向避難・放水範囲拡大のための対策提案	共著	2022年 7月	立命館大学 歴史都市防災研究所 『歴史都市防災論文集』	平尾 和洋, 田邊 勇樹, 大場 修	73-80	
12	大場修	出石伝統的建造物群保存地区における町家の平面・意匠分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	共著	2022年 7月	立命館大学 歴史都市防災研究所 『歴史都市防災論文集』	大場 修, 平尾 和洋, 中村 魁	81-88	
13	大場修	日本の漁村集落空間に関する類型的把握-全国的視点と北近畿地方における事例調査から-	共著	2023年3月	日本建築学会技術報告集第29巻第71号	川田泰歩, 平尾和洋, 大場修	378-383	
14	大場修	和東町湯船地区の製茶農	共著	2022年	『日本建築学会北海道支部	辻仁紀, 大場修, 平	367-370	

		家における主屋と茶工場の構造的特徴		6月	研究報告集』第95号	尾和洋, 奥矢恵, 三輪晋也		
15	岡井有佳	立地適正化計画の策定による市街化区域外の土地利用規制への影響に関する研究	共著	2022年 1月	都市住宅学会、都市住宅学 116号	倉田紘平・岡井有佳・酒本恭聖	137-144	
16	岡井有佳	フランスにおける都市政策実現に向けての合意形成に関する研究	共著	2022年 6月	実践政策学 8(1)	ヴァンソン藤井由実・金山洋一・岡井有佳・村尾俊道・本多豊・中川大	103-118	
17	岡井有佳	津山市重要伝統的建造物群保存地区における水害リスクに関する研究	共著	2022年 7月	立命館大学 歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 16	喜多孝輔・酒井智弘・岡井有佳・馬場美智子	191-196	
18	岡井有佳	コンパクトシティ形成に向けた逆線引き実施のプロセスと課題に関する研究	共著	2022年 10月	日本都市計画学会日本都市計画学会都市計画論文集 57(3)	吉田隼斗・岡井有佳	1317 -1324	
19	小川圭一	災害の時間的フェーズを考慮した歴史都市防災に関する研究内容の傾向分析	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 Vol. 16	小川圭一, 宇佐美智子	143-150	
20	鐘ヶ江秀彦	2016年熊本地震における災害ボランティアの災害応急対策の時系列分析	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 Vol. 16	小川圭一編集委員会 委員長・留野 僚也, 豊田 祐輔, 鐘ヶ江 秀彦	121-128	
21	鐘ヶ江秀彦	時空間的要因を考慮したNPO法人の事業目的の分析に基づく文化遺産防災に関する考察：都市縮小期を迎えた京都市を事例として	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 Vol. 16	小川圭一編集委員会 委員長・大橋 弘明, 留野 僚也, 豊田 祐 輔, 鐘ヶ江 秀彦	135-142	
22	川崎佑磨	Improvement in Long-term Strength and Flow of Mortar Containing Reed Ash and Powder		2022年 4月	Japan Concrete Institute Journal of Advanced Concrete Technology 20(4)	Masahiro Hyodo, Shinya Shibahara, Hidehiko Ogata, Daiki Atarashi, Yuma Kawasaki, Takahisa Okamoto	267-276	
23	川崎佑磨	鉄鋼スラグ粗骨材を使用したコンクリートの圧縮破壊過程のAEモニタリング		2022年 6月	材料 71(6)	山田悠二, 川崎佑磨, 辻西勇輝, 戸松功佑, 堀朝登, 榎原弘貴	540-547	
24	川崎佑磨	補修に用いるモルタルの物性が鉄筋腐食進展に及ぼす影響		2022年 7月	コンクリート工学年次論文集 44(1)	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨, 田中章夫	694-699	
25	川崎佑磨	高強度コンクリートを対		2022年	コンクリート工学年次論文	坂本恭裕, 川崎佑磨,	850-855	

		象とした空練りがモルタルフローに与える影響		7月	集 44(1)	福山智子, 金侖美		
26	川崎佑磨	空気圧入による3年間暴露したポーラスコンクリートの空隙率変化の評価		2022年 7月	コンクリート工学年次論文 集 44(1)	野々村大心, 川崎佑磨, 中島康成, 山田茂	1168 -1173	
27	川崎佑磨	地盤内に設置したポーラスコンクリートの水平透水性能に関する実験的考察		2022年 7月	コンクリート工学年次論文 集 44(1)	坂野大世, 川崎佑磨	1048 -1053	
28	川崎佑磨	Failure mechanisms of corroded/non-corroded RC cylinder under axial compressive loading evaluated by AE technique		2022年 9月	Frontiers Media SAFrontiers in Built Environment 8	Mouhamadou Mountakhah Seye, Yuma Kawasaki		
29	川崎佑磨	空練りがモルタルフローに与える影響		2022年 10月	コンクリートテクノ, 41 (10)	坂本恭裕, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	36-42	
30	川崎佑磨	Phenomenological process of rebar corrosion in reinforced concrete evaluated by acoustic emission and electrochemical noise		2022年 10月	Elsevier BVConstruction and Building Materials 352	Yuma Kawasaki, Shinya Fukui, Tomoko Fukuyama	128829- 128829	
31	河角直美	〈孤島-都市〉としての南大東島	共著	2022年 3月	公益財団法人 JFE21 世紀財団『2021年度 大学研究助成 アジア歴史研究報告書』	加藤政洋・河角直美	127-152	
32	河角直美	伊佐浜・インヌミ・照屋—基地都市コザのミッシング・リンクを求めて—	共著	2022年 9月	立命館文學, 679号	加藤政洋・河角直美・前田一馬	139-162	
33	河角直美	2021年学界展望：自然環境・災害	単著	2022年 10月	人文地理, 74巻3号	河角直美	325-330	
34	河角直美	南大東島の企業城下町「在所」の景観復原	共著	2023年 3月	環太平洋文明研究, 7号	河角直美・加藤政洋	34-49	
35	神田孝治	観光学 3.0 の探究に向けて—ツーリズム・モビリティーズの再考を通じた展望	単著	2023年 3月	観光学評論 11巻1号	神田孝治	73-87	
36	金度源	歴史地区における豪雨災害に備えた避難所機能のニーズ評価：マーケティング手法を用いた整備項目の評価と提案	共著	2022年 7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 16	◎大窪 健之 ， 福永 靖史 ， 金 度源	113-120	
37	金度源	火災情報を即時共有する	共著	2022年	立命館大学歴史都市防災研	◎南本 一樹	169-176	

		地域防災情報ネットワークシステムの機能向上と評価に関する研究 ―豊岡市出石伝建地区でのオンライン防災訓練を通して―		7月	究所歴史都市防災論文集 16	，大窪 健之 ，金 度源		
38	金度源	まちなかコモンズ整備事業を活用した密集市街地の防災整備に関する研究	共著	2022年 7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 16	◎廣山 達哉 ，大窪 健之 ，金 度源	183-190	
39	金度源	歴史的な地区の防災活動状況や住民の防災意識に関する研究 ―奈良県五條市五條新町重伝建地区を対象として―	共著	2022年 7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 16	◎金 度源， 倉本 紗季， 大窪 健之	211-218	
40	金度源	ネパールにおける伝統的施設および教育施設の防災拠点としての活用可能性：ゴルカ地震を経験したパタン地区での実例を対象として	共著	2022年 7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集	◎里中 涼華 ，大窪 健之 ，サキャ ラ タ，金 度源		
41	金侖美	セメント系材料の荷重に伴う発電現象に対する遷移帯の影響	共著	2023年 3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子，金侖美， 生野孝		
42	金侖美	電気化学ノイズ法によるコンクリート中の各種鋼材の腐食進展把握	共著	2023年 3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子，金侖美， 川崎佑磨		
43	金侖美	導電性の異なるセメントペースト複合体における繰返し荷重に対する発電応答	共著	2023年 3月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子，金侖美， 生野孝		
44	金侖美	高強度コンクリートを対象とした空練りがモルタルフローに与える影響	共著	2022年 7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	坂本恭裕，川崎佑磨， 福山智子，金侖美	850-855	
45	金侖美	導電性セメント硬化体の一軸繰返し荷重によるひずみ変化と電氣的応答特性	共著	2022年 7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	金侖美，福山智子	1306 -1311	
46	金侖美	補修に用いるモルタルの物性が鉄筋腐食進展に及ぼす影響	共著	2022年 7月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	福山智子，金侖美， 川崎佑磨，田中章夫	694-699	
47	木村智	ジュゼッペ・パガーノにおけるファシズム建築	共著	2022年 6月	日本建築学会近畿支部 研究報告集	木村智，宮内棟伍	477-480	
48	木村智	別府市鉄輪の空き家活用における wallstat の有効性に関する研究	共著	2022年 7月	『歴史都市防災論文集』第16号	木村智，坂本昇陽， 平尾和洋	25-32	
49	木村智	ローマ万国博覧会の帝国のアーチにおける A. リベ	単著	2022年 9月	日本建築学会大会学術講演梗概集（北海道）	木村智	745-746	

		ラと P.L. ネルヴィの検討						
50	木村智	イタリア・ファシズムにおける古代ローマの構法 的継承	単著	2022年 9月	日本建築学会大会（北海道）建築計画部門PD資料 各部構法小委員会・構法史WG	木村智	38-41	
51	小林泰三	3次元レーザ測量を利用した城郭石垣の安定性評価	共著	2022	地盤工学会誌, Vol. 70, No. 8, Ser. No. 775	小林泰三, 安井伸 顕, 家村享明, 西村 正三	17-21	
52	小林泰三	地盤データベースの活用における ANN による三軸圧縮試験の内部摩擦角推定の試み	共著	2022年 11月	AI・データサイエンス論文集, 3巻(2022), J2号	北岡 貴文, 山本 雄 平, 水谷 未来, 小 林 泰三	17-22	
53	小林泰三	機械学習を用いたアースオーガ掘削音による地盤材料の粒度推定に関する基礎的研究	共著	2022年 11月	AI・データサイエンス論文集, 3巻(2022), J2号	遠藤 慧人, 小林 泰 三	1024 -1028	
54	小林泰三	土粒子画像による地盤材料の工学的分類の試み	共著	2022年 11月	AI・データサイエンス論文集, 3巻(2022), J2号	阿部 友貴, 小林 泰 三	1037 -1041	
55	小林泰三	地盤防災・環境保全に資する地盤改良技術の現状と展望-ICTを活用した地盤改良工と法面工の生産性向上-	共著	2022	材料, 日本材料学会, 71 巻, 11号	小林泰三, 椎葉祐 士, 宇梶 伸, 尾形 太, 藤田 哲	936-942	
56	小林泰三	A basic study on estimation of particle size distribution based on machine learning using sounds during screw auger excavation	共著	2022年 11月	Proc. of 12th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials & Environment	K. Endo, T. Kobayashi and R. Fukagawa		
57	小林泰三	Feasibility study on soil classification from soil images using deep learning	共著	2022年 11月	Proc. of 12th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials & Environment	T. Abe and T. Kobayashi		
58	小林泰三	地盤工学分野における ICT 導入の現状	共著	2022年 11月	Kansai Geo-Symposium 2022 論文集	小林泰三, 鍋島康 之, 北岡貴文, 小田 和広, 交久瀬磨衣子	6	
59	里深好文	令和3年7月静岡県熱海市で発生した土石流災害	共著	2022年 1月	砂防学会誌 74(5)	今泉文寿・小山内信 智・加藤真雄・小池 優・小杉賢一 朗・坂井佑介・坂 口宏・里深好文・高 山翔揮・田中隆 文・西陽太郎	34-42	
60	里深好文	SPATIAL DISTRIBUTION PROPERTIES AND THE	共著	2022年 6月	Journal of JSCE 10	Taiki Mori, Ryou Sasaki,	415-429	

		MONITORING OF RAINFALL EVENTS THAT CAUSE SEDIMENT INFLOW DISASTERS				Masataka Fujii, Tomoyasu Sugiyama and Yoshifumi Satofuka		
61	里深好文	土砂・洪水氾濫対策の施設規模における計画規模の設定方法に関する考察	共著	2022年 6月	河川技術論文集 28	原田紹臣・藤本将光・小杉賢一朗・里深好文・水山高久	355-360	
62	里深好文	A study on a risk assessment method to evaluate small-scale sediment inflows on railroad tracks	共著	2022年 7月	Journal of JSCE 10		348-367	
63	里深好文	無流水溪流対策における透過型施設の構造に関する基礎的な実験	共著	2022年 8月	第11回土砂災害に関するシンポジウム論文集	原田紹臣・里深好文・水山高久	113-118	
64	里深好文	土石流の規模推定に向けた山地溪流の集水領域に関する研究	共著	2022年 10月	自然災害科学 41(特別)	中谷加奈・里深好文	141-150	
65	里深好文	画像解析を用いた土砂濃度測定手法の基礎的検討	共著	2022年 11月	砂防学会誌 75(4)	佐藤光平・内田太郎・権田豊・里深好文	3-13	
66	高橋学	不適切な土地利用が拡大させる災害	単著	2022年 3月	雄山閣	環太平洋文明研究センター	38-53	
67	豊田祐輔	グループホームにおける水害対策の現状と課題に関する研究	共著	2022年 3月	立命館大学地域情報研究所地域情報研究-立命館大学地域情報研究所紀要-(立命館大学地域情報研究所)(11)	張軒、豊田祐輔	71-92	
68	豊田祐輔	訪日中国人観光客の避難行動意思決定に関する研究	共著	2022年 7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 16	楊曼尊、豊田祐輔	105-112	
69	豊田祐輔	2016年熊本地震における災害ボランティアの災害応急対策の時系列分析	共著	2022年 7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 16	留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	121-128	
70	豊田祐輔	時空間的要因に着目したNPO法人事業目的の分析に基づく文化遺産防災に関する考察-都市縮小期を迎えた京都市を事例として-	共著	2022年 7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 16	大橋弘明、留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	135-142	
71	豊田祐輔	Factors Contributing to Community-Based Disaster Risk	共著	2022年 11月	Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University, Journal of the Asia-Japan Research	Phuakunian Kanjana, Toyoda Yusuke	158-174	

		Reduction for Foreign Residents in Japan			Institute of Ritsumeikan University (4)			
72	夏目宗幸	千町野の新田村落名にお ける「前」の意味	共著	2022年 3月	武蔵野市立武蔵野ふるさと 歴史館武蔵野ふるさと 歴史館だより 9	北西諒介・ 夏目宗幸	2-4	
73	夏目宗幸	旧高旧領取調帳と農業集 落境界データによる近 世 村領域推定	共著	2022年 10月	地理情報システム学会講演 論文集(CD-ROM) 31	本田 謙一・ 夏目 宗幸・ 根元 裕樹	1-6	
74	夏目宗幸	『地理総合』の重要語句 に基づいたGIS教材の 開発	共著	2022年 10月	地理情報システム学会講演 論文集(CD-ROM) 31	根元 裕樹・ 夏目 宗幸	1-10	
75	夏目宗幸	市区町村スケールにおけ る別荘地の立地特性	共著	2022年 10月	地理情報システム学会講演 論文集(CD-ROM) 31	前田 一馬・ 夏目 宗幸	1-7	
76	夏目宗幸	奉納砲弾から読み解く武 蔵野の変化と田付景利の 役割	共著	2023年 1月	武蔵野市立武蔵野ふるさと 歴史館武蔵野ふるさと 歴史館だより 10	夏目 宗幸・ 安岡達仁	2-4	
77	夏目宗幸	江戸近郊における将軍家 鷹場の領域形成	単著	2023年 2月	吉川弘文館、日本歴史 (2023年1月号(897))	夏目 宗幸	19-35	
78	平尾和洋	別府市鉄輪の空き家活用 におけるwallstatの有 効性に関する研究	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 vol. 16	木村智, 坂本昇陽, 平 尾和洋	25-32	
79	平尾和洋	出石伝統的建造物保存地 区における建築物の延焼 脆弱性の定量化と二方向 避難・放水範囲拡大のた めの対策提案	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 vol. 16	平尾和洋, 田邊勇樹, 大場修	73-80	
80	平尾和洋	出石伝統的建造物群保存 地区における町家の平 面・意匠分析および延焼 防止力向上を加味した修 理修景基準改定への提案	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 vol. 16	大場修, 平尾和洋, 中 村魁	81-88	
81	平尾和洋	歴史的風土特別保存地区 における民家主屋の外観 意匠類型化とその屋敷構 えとの関係 明日香村の 奥山・飛鳥・川原・野口・ 岡・島庄の六大字を事例 として	共著	2022年 7月	日本建築学会計画系論文集 第87巻(797号)	山本直彦, 平尾和洋, 吉田哲也, 室崎千重	1271 -1281	
82	平尾和洋	日本の漁村集落空間に関 する類型的把握-全国的 視点と北近畿地方におけ る事例調査から-	共著	2023年3 月	日本建築学会技術報告集第 29巻第71号	川田泰歩, 平尾和洋, 大場修	378-383	
83	深川良一	修正I-D法による斜面崩 壊危険度予測における飽	共著	2022年 7月	土木学会論文集C(地圏工 学) 78(3)	檀上 徹, 酒匂 一 成, 石澤 友浩, 藤	165-179	

		和帯形成時刻の推定手法の提案				本 将光, 伊藤 真一, 深川 良一		
84	深川良一	修正 I-D 法を用いた斜面崩壊危険度予測の他地域への適用可能性の検証	共著	2022 年 11 月	斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム論文集 (北九州)	檀上徹, 石澤友浩, 酒匂一成, 藤本将光, 伊藤真一, 深川良一	9-16	
85	深川良一	世界遺産清水寺における文化遺産防災の取り組みと斜面災害復旧事例	共著	2022 年 11 月	土木技術「特集：遺産と土木」、77 巻、11 号	宇次原雅之, 深川良一	8-14	
86	深川良一	現地モニタリングを用いた斜面崩壊監視システム	共著	2022 年 4 月	EICA : journal of EICA : 環境システム計測制御学会誌 / 学会誌「EICA」編集委員会編、特集 災害時における最新のモニタリングおよび予測技術(後編)	藤本 将光, 檀上徹, 平岡 伸隆, 酒匂 一成, 深川 良一	45-49	
87	深川良一	京都市東山地域における地下水流動と斜面崩壊の特徴	共著	2022 年 9 月	地盤工学会誌, Vol. 70, No. 9, No. 776	藤本将光, 檀上徹, 平岡伸隆, 酒匂一成, 深川良一	17-22	
88	福水洋平	Improved Facial Keypoint Regression Using Attention Modules	共著	2022 年 3 月	SpringerProceedings on IW-FCV 2022		182-196	
89	福山智子	セメント系材料の載荷に伴う発電現象に対する遷移帯の影響	共著	2023 年 3 月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 生野孝		
90	福山智子	電気化学ノイズ法によるコンクリート中の各種鋼材の腐食進展把握	共著	2023 年 3 月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨		
91	福山智子	導電性の異なるセメントペースト複合体における繰返し載荷に対する発電応答	共著	2023 年 3 月	セメント・コンクリート論文集 76	福山智子, 金侖美, 生野孝		
92	福山智子	Phenomenological process of rebar corrosion in reinforced concrete evaluated by acoustic emission and electrochemical noise	共著	2022 年 10 月	Construction and Building Materials 352	YumaKawasaki, ShinyaFukui, TomokoFukuyama		
93	福山智子	高強度コンクリートを対象とした空練りがモルタルフローに与える影響	共著	2022 年 7 月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	坂本恭裕, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美		
94	福山智子	導電性セメント硬化体の一軸繰返載荷によるひずみ変化と電氣的応答特性	共著	2022 年 7 月	日本コンクリート工学会年次論文集 44	金侖美, 福山智子		
95	福山智子	補修に用いるモルタルの	共著	2022 年	日本コンクリート工学会年	福山智子, 金侖美,		

		物性が鉄筋腐食進展に及ぼす影響		7月	次論文集 44	川崎佑磨, 田中章夫		
96	福山智子	Current State of Knowledge on Bare High-Nickel Type Weathering Steel Towards the Application as Concrete Reinforcement	共著	2022年 4月	Journal of Advanced Concrete Technology Vol. 20	Emel Ken D. Benito, Atsushi Ueno and Tomoko Fukuyama		
97	藤本将光	京都市東山地域における地下水流動と斜面崩壊の特徴	共著	2022年 9月	地盤工学会誌, Vol. 70	藤本将光, 檀上徹, 平岡伸隆, 酒匂一成, 深川良一	17-22	
98	藤本将光	現地モニタリングを用いた斜面崩壊監視システム	共著	2022年 3月	環境システム計測制御学会誌, 26巻4号	藤本将光, 檀上徹, 平岡伸隆, 酒匂一成, 深川良一	45-49	
99	藤本将光	Effects of geological differences on rainfall-runoff characteristics based on field measurements	共著	2022年 11月	Hydrological Research Letters, Volume 16(4)	Jun Inaoka, Ken'ichirou Kosugi, Naoya Masaoka, Tetsushi Itokazu, Kimihito Nakamura, Masamitsu Fujimoto	80-86	
100	藤本将光	土砂・洪水氾濫対策の施設規模における計画規模の設定方法に関する考察	共著	2022年 6月	河川技術論文集, 第28巻	原田紹臣・藤本将光・小杉賢一朗・里深好文・水山高久	355-360	
101	藤本将光	土壌雨量指数の飽和度を用いたパラメータの同定期間の検討	共著	2022年 11月	Kansai Geo-Symposium 論文集, Vol. 10	林祐妃・藤本将光・山田由生・宮崎祐輔・小山倫史・岸田潔: 土壌雨量指数の飽和度を用いたパラメータの同定期間の検討	153-157	
102	本間睦朗	特定電気事業による大規模停電への備えから考察する京都市のBCPに関する研究	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 16	福本真史・本間睦朗	97-104	
103	前田一馬	伊佐浜・インヌミ・照屋—基地都市コザのミッション・リンクを求めて—	共著	2022年 9月	立命館文學 (679)	加藤政洋, 河角直美, 前田一馬	139-162	
104	前田一馬	市区町村スケールにおける別荘地の立地特性	共著	2022年 10月	第31回地理情報システム学会講演論文集(CD-ROM)	前田一馬, 夏目宗幸	P-2(1-7)	
105	前田一馬	「鴨川古写真GISデータベース」の構築に向けた現状と課題	共著	2022年 12月	人文科学とコンピュータシンポジウム2022 論文集 (情報処理学会シンポジウムシリーズ)	飯塚公藤, 谷端 郷, 大邑潤三, 佐藤弘隆, 島本多敬, 前田一馬, 鈴木康久	1-6	
106	前田一馬	明治期の軽井沢に対する	単著	2023年	立命館大学人文科学研究	前田一馬	215-245	

		避暑客の環境認識		1月	紀要 (134)			
107	宗本晋作	ベイジアンネットワークを用いた路上犯罪発生箇所の特徴に関する研究	共著	2022年 7月	歴史都市防災論文集 vol. 16	山崎良祐, 宗本晋作	185-192	
108	宗本晋作	マルチモーダル深層学習を用いた街並み画像に対する人間の振る舞い予測—注視点傾向予測及び結果を付与した多次元データによる訪問意欲予測を対象に—	共著	2022年 8月	日本建築学会、日本建築学会計画系論文集, 第87巻 第798号	大野耕太郎, 山田悟史, 宗本晋作	1602 -1611	
109	宗本晋作	京都精華大学 明窓館	共著	2023年 1月	新建築社、新建築, 2023. 1	宗本晋作, 三井住友建設	112-119	
110	宗本晋作	META FOREST	共著	2022年 10月	ARCHI-LABCO、 Architecture and Culture 497	宗本晋作, Teawoo Jeon	170-171	
111	村中亮夫	高等学校「地理総合」における防災教育教材の開発と実践—高知県室戸市吉良川町の海岸段丘とその周辺地域を題材として—	共著	2022年 3月	2021年度室戸ジオパーク 学術研究助成報告書	八巻葉, 村中亮夫, 矢野桂司		
112	村中亮夫	安全安心マップ作成による地域防災力の向上のための課題に関する考察—「第15回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告を通して—	共著	2022年 3月	京都歴史災害研究 (23)	大橋弘明, Cheek Wesley Webb, 村中亮夫	29-38	
113	矢野桂司	文化財防災研究や歴史災害研究への発掘調査データベースの活用	共著	2022年 7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 16	武内 樹治, 矢野 桂司	227-230	
114	矢野桂司	ひとり親世帯の公営住宅団地の地域選択における傾向：地理的限定と子供の成育環境に着目して	共著	2023年 1月	都市住宅学会、都市住宅学 116	式王美子, 伊丹絵美子, 上杉昌也, 趙賢株, 生川慶一郎, 河野学, 中西貢弓, 矢野桂司	126-136	
115	山田悟史	深層学習を用いた伝統的建造物群保存地区の街路画像の分類	共著	2022年 7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 16(論文部門)	◎越智広樹, 山田悟史	57-64	
116	山田悟史	マルチモーダル深層学習を用いた街並み画像に対する人間の振る舞い予測—注視点傾向予測及び結果を付与した多次元データによる訪問意欲予測を	共著	2022年 8月	日本建築学会計画系論文集 87(708)	◎大野耕太郎, 山田悟史, 宗本晋作	1602 -1611	

		対象に-						
117	山本理佳	フィールドワーク的観光の可能性—親密性をめぐる一試論—	単著	2022年 1月	立命館大学人文科学研究 所紀要 (131)			135-153
118	吉富信太	木造住宅の設計情報及び微動計測を用いた非構造要素を考慮した初期層剛性の推定モデルの構築	共著	2022年 1月	日本建築学会構造系論文集 87(791)	◎羽原琢朗, 佐田貴浩, 岸本和貴, 吉富信太		
119	吉富信太	座屈拘束ブレース設置による固有周期変動の抑制機構として 慣性質量ダンパーを用いたハイブリッド制振システムの配置及び性能の合理的設計法	共著	2022年 12月	日本建築学会構造系論文集 87(802)	◎原田 大輔, 吉富信太		
120	SHAKYA Lata	Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, International training course 2021	共編者(共編著者)	2022年 2月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Rohit JIGYASU, Downon KIM, Lata SHAKYA, Wesley Webb, CHEEK, Hiroaki OHASHI		
121	SHAKYA Lata	ネパールにおける伝統的施設および教育施設の防災拠点としての活用可能性—ゴルカ地震を経験したパタン地区での実例を対象として—	共著	2022年 7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 Vol.16 (16)	里中涼華, 大窪健之, サキヤラタ, 金度源		219-226
122	宮崎彩	Bottom up Approach to the World Heritage Conservation Mechanism: Three-Layered Actors of the Historic Center of Mexico City	単著	2022年 7月	東京大学大学院 博士論文			
123	林祐妃	土壌雨量指数の飽和度を用いたパラメータの同定期間の検討	共著	2022年 11月	Kansai Geo-Symposium 論文集, Vol. 10	林祐妃・藤本将光・山田由生・宮崎祐輔・小山倫史・岸田潔		153-157

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	青柳憲昌	「壁画収蔵庫の建築理念～文化財の防災と活用～ —法隆寺シンポジウム—壁画収蔵庫竣工70年～法隆寺金堂壁画のいまと明日」主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、共催：文化庁、朝日新聞文化財団	2022年2月	「法隆寺シンポジウム—壁画収蔵庫竣工70年～法隆寺金堂壁画のいまと明日」	青柳憲昌

2	青柳憲昌	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 2021年度事業報告」	2022年3月	2022年3月12日、第7回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合／第8回法隆寺金堂壁画保存活用委員会	青柳憲昌
3	青柳憲昌	公開研究会「青柳憲昌著『日本近代の建築保存方法論—法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念』を読む」第8回日本建築学会近畿支部建築史部会公開研究会、回答者として、於・大阪科学技術センター404号室	2022年12月	第8回日本建築学会近畿支部建築史部会公開研究会	青柳憲昌
4	阿部俊彦	駅前公共空間の活用推進ワークショップの開発およびその分析について -滋賀県草津市南草津駅前におけるUDCBK 社会実験準備事業を通して-	2022年9月	2022年度日本建築学会大会（北海道）学術講演梗概集（オーガナイズドセッション）	青山柊、寶珍宏元、阿部俊彦
5	阿部俊彦	幼少期の遊びに着目した地域住民の記憶の集積地となる回想空間の設計提案（建築デザイン発表）	2022年9月	2022年度日本建築学会大会（北海道）学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集	深井麻理奈、阿部俊彦、武田史朗
6	阿部俊彦	模型の繰り返し製作による公共空間の過ごし方を考えるワークショップの効果 滋賀県草津市南草津駅前におけるUDCBK 社会実験準備事業を通して	2022年9月	2022年度日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集	寶珍宏元・青山柊・阿部俊彦
7	泉 知論	小型自律移動ロボットのための環境設置カメラによる位置推定の試行	2022年2月	画像電子学会 第299回研究会, 21-03-28, pp.167-172	中村宣彬, 泉知論
8	泉 知論	確率分布に対する超角錐近似と初期解の生成	2022年6月	電子情報通信学会 技術研究報告, vol.122, no.60, RECONF2022-15, pp.63-67	竹中健太, 松井優貴, 泉知論
9	泉 知論	高位合成向け乱数生成ライブラリの拡充	2022年9月	電子情報通信学会 技術研究報告, vol.122, no.174, RECONF2022-37, pp.47-52	浅海悠人, 泉知論
10	泉 知論	画像認識による害獣検知の試行	2022年9月	電子情報通信学会ソサイエティ大会, AS-1-2	泉知論
11	大窪健之	火災情報を即時共有する地域防災情報ネットワークシステムの機能向上と評価に関する研究 -豊岡市出石伝建地区でのオンライン防災訓練を通して-	2022年7月	歴史都市防災論文集（報告）、vol.16, pp.169-176	南本一樹・大窪健之・金度源
12	大窪健之	まちなか commons 整備事業を活用した密集市街地の防災整備に関する研究	2022年7月	歴史都市防災論文集（報告）、vol.16, pp.183-190	廣山達哉・大窪健之・金度源
13	大窪健之	歴史的な地区の防災活動状況や住民の防災意識に関する研究 -奈良県五條市五條新町重伝建地区を対象として-	2022年7月	歴史都市防災論文集（報告）、vol.16, pp.211-218	金度源・倉本紗季・大窪健之
14	大窪健之	ネパールにおける伝統的施設および教育施設の防災拠点としての活用可能性 -ゴルカ地震を経験したパタン地区での実例を対象として-	2022年7月	歴史都市防災論文集（報告）、vol.16, pp.219-226	里中涼華・大窪健之・サキヤラタ, 金度源
15	大場修	宇治茶生産集楽和東町湯船岩倉地区における集落構成および伝統的建造物・環境	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	上田圭太郎, 三輪晋也, 平尾和洋, 大場 修

		物件を含む景観の分析			
16	大場修	宇治茶生産集落和東町湯船地区におけるデータ分析と編年・民家変遷に関する考察	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	嶋津祐哉, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修
17	大場修	全国の漁家主屋の平面類型と兵庫県津居山集落における平面に関わる考察	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	大場修, 田崎幹大, 平尾 和洋
18	大場修	漁村の集落形態の類型とその発展図式に関する考察 —全国的視点と北近畿地方における事例調査から—	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	平尾和洋, 川田泰歩, 大 場修
19	大場修	出石伝統的建造物群保存地区における町家の諸特性分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	藤木大真, 中村魁, 平尾 和洋, 大場修
20	大場修	出石伝統的建造物群保存地区における建築単体での延焼脆弱性の検証および消火活動と二方向避難の提案	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第62号・計画系	田辺勇樹, 平尾和洋, 大 場修
21	大場修	兵庫県津居山集落における漁家平面に関わる類型とその考察	2022年 7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集DVD』2022号	本田暁彦, 田崎幹大, 大 場修, 平尾和洋
22	大場修	出石伝統的建造物群保存地区における建築単体での延焼脆弱性の検証 及び消火活動と二方向避難の提案	2022年 7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集DVD』2022号	饗庭優樹, 田辺 勇樹, 平尾和洋, 大場修
23	大場修	出石伝統的建造物群保存地区における町家の諸特性分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	2022年 7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集DVD』2022号	山田迪与, 中村魁, 平 尾和洋, 大場修
24	小川圭一	災害の時間的フェーズを考慮した歴史都市防災に関する研究内容の傾向分析	2022年7月	第16回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 宇佐美智子
25	鐘ヶ江秀彦	2016年熊本地震における災害ボランティアの 災害応急対策の時系列分析	2022年7月	第16回歴史都市シンポジウム	留野 僚也, 豊田 祐輔, 鐘ヶ江 秀彦
26	鐘ヶ江秀彦	時空間的要因を考慮したNPO法人の事業目的的分析に基づく文化遺産防災に関する考察：都市縮小期を迎えた京都市を事例として	2022年7月	第16回歴史都市シンポジウム	大橋 弘明, 留野 僚也, 豊田 祐輔, 鐘ヶ江 秀 彦
27	鐘ヶ江秀彦	地域住民の役割行動の明確化を目的としたシナリオ提示型避難所運営ゲーミングの開発と試行に関する研究	2022年 11月	日本シミュレーション&ゲーミング学会秋季全国大会	留野僚也, 加減渉, 鐘ヶ 江 秀彦
28	河角直美	『ひめゆりの塔』著者・石野径一郎旧蔵写真の全貌	2022年8月	『写真資料にみる1950年代沖縄の社会と景観』の報告会(於:沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート)	加藤政洋・河角直美・ 前田一馬
29	河角直美	戦後沖縄における「スクラップ・ブーム」とその影響—人的被害のひろがりに着目して—	2022年 11月	2022年人文地理学会大会(於:佛教大学)	前田一馬・河角直美・ 加藤政洋・常本亮太
30	神田孝治	AIと私—境界から問うAI	2022年2月	シンポジウム「Dxの光と影—デジタル革命の人文・社会科学」	神田孝治
22	北本英里子	建築情報学の授業の理解と意欲に関するアンケート調査の報告	2022年9月	日本建築学会, 日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集, 建築	北本英里子, 山田悟史

				情報システム	
23	北本英里子	生理的反応を取り入れた没入型仮想環境におけるデザイン生成システムの提案ーBreathing Design System の開発と活用事例ー	2022年 12月	日本建築学会, 第45回 情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集, インタラクティブ発表	北本英里子, 山田悟史
24	北本英里子	建築・都市VR・MRの応用と展望2022 (1)	2022年 12月	日本建築学会, 第45回 情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集, 報告	福田知弘, 安藤幸央, 上田淳, 大石智久, 大西康伸, 北本英里子, 倉田成人, 酒谷稔将, 笹田岳, 灘英樹, 松永直美, 松山洋人, 満田衛資
25	北本英里子	建築・都市VR・MRの応用と展望2022 (2)	2022年 12月	日本建築学会, 第45回 情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集, 報告	福田知弘, 安藤幸央, 上田淳, 大石智久, 大西康伸, 北本英里子, 倉田成人, 酒谷稔将, 笹田岳, 灘英樹, 松永直美, 松山洋人, 満田衛資
26	金 侖美	断面修復した鉄筋コンクリート梁における曲げ応力と弾性パラメータの関係	2022年9月	日本建築学会大会	神代康輔・金侖美・吉富信太・福山智子
27	金 侖美	電気化学ノイズによるコンクリート中の各種鋼材の腐食形態把握に関する基礎的検討 その1: 時間領域の解析	2022年9月	日本建築学会大会	川崎佑磨・金侖美・福山智子
28	金 侖美	電気化学ノイズによるコンクリート中の各種鋼材の腐食形態把握に関する基礎的検討-その2: 時間一周波数領域の解析	2022年9月	日本建築学会大会	福山智子・金侖美・川崎佑磨
29	金 侖美	炭素繊維含有量および含水状態がセメントペーストの一軸繰返し試験による圧電挙動に及ぼす影響	2022年9月	日本建築学会大会	金侖美・福山智子
30	木村 智	ジュゼッペ・パガーノにおけるファシズム建築	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	木村智
31	木村 智	別府市鉄輪の空き家活用におけるwallstatの有効性に関する研究	2022年7月	第16回歴史都市防災シンポジウム	木村智
32	木村 智	ローマ万国博覧会の帝国のアーチにおけるA. リベラとP.L. ネルヴィの検討	2022年9月	日本建築学会大会 (北海道)	木村智
33	豊田祐輔	Gaming Simulation: Interactive Tool for Environmental Management	2022年5月	The 11th International Conference on Environmental Engineering, Science and Management	Toyoda Yusuke
34	豊田祐輔	Gaming Simulation for Collecting Local Knowledge for Flood Resilience	2022年7月	ISAGA (International Simulation And Gaming Association) 2022: 53rd Anniversary Conference	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita
35	豊田祐輔	Gaming Simulation as a Communication and Learning Tool for Transformation	2022年 10月	17th Asia Pacific Sociological Association 2022 Conference	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita

36	豊田祐輔	地域防災知の収集に関するゲーミング・シミュレーションの優位性 ：フォーカス・グループ・ディスカッションとの比較を通じて	2022年 11月	日本シミュレーション&ゲーミング学会 2022年度秋期全国大会	豊田祐輔*、 Tanwattana Puntita
37	豊田祐輔	Gaming Simulation for Learning Flood Disaster Local Knowledge	2022年 11月	Society for Risk Analysis-Asia Conference 2022	Toyoda Yusuke*、 Tanwattana Puntita
38	豊田祐輔	Transdisciplinary Research: Impact Oriented Research Collaboration	2022年 11月	2022 Global Research Council Asia-Pacific Regional Meeting	Toyoda Yusuke
39	豊田祐輔	Collecting Local Practice on Flood Management by Gaming Simulation and Focus Group Discussion	2022年 11月	17th APRU (Association of Pacific Rim Universities) Multi-Hazards Symposium 2022	Toyoda Yusuke*、 Tanwattana Puntita
40	豊田祐輔	Grasping Flood Risk Management Knowledge by Gaming Simulation	2023年2月	NERPS (Network for Education and Research on Peace and Sustainability) Conference 2023	Toyoda Yusuke*、 Tanwattana Puntita
41	夏目宗幸	千町野開発における幕臣の系譜的 検討	2022年1月	企画例会「江戸西郊地域の開発 と武家」	夏目宗幸
42	夏目宗幸	江戸近郊における将軍家鷹場の空 間構造—GIS データ構築を手がかり として—	2022年 11月	第160回研究部会「GISの進展と 歴史学」	夏目宗幸
43	花岡和聖	空間ビッグデータを用いた都市内人口分 布の時空間的把握—「コロナ禍」の京都 市を事例に—	2022年 11月	2022年人文地理学会	花岡和聖・矢野桂司
44	平尾和洋	宇治茶生産集楽和東町湯船岩倉地区にお ける集落構成および伝統的建造物・環境 物件を含む景観の分析	2022年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告 集』第62号・計画系	上田圭太郎, 三輪晋也, 平尾和洋, 大場修
45	平尾和洋	宇治茶生産集楽和東町湯船地区における データ分析と編年・民家変遷に関する考 察	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告 集』第62号・計画系	嶋津祐哉, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修
46	平尾和洋	全国の漁家主屋の平面類型と兵庫県津居 山集落における平面に関わる考察	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告 集』第62号・計画系	大場修, 田崎幹大, 平尾 和洋
47	平尾和洋	漁村の集落形態の類型とその発展図式に 関する考察 —全国的視点と北近畿地方 における事例調査から—	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告 集』第62号・計画系	平尾和洋, 川田泰歩, 大 場修
48	平尾和洋	出石伝統的建造物群保存地区における町 家の諸特性分析および延焼防止力向上を 加味した修理修景基準改定への提案	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告 集』第62号・計画系	藤木大真, 中村魁, 平尾 和洋, 大場修
49	平尾和洋	出石伝統的建造物群保存地区における建 築単体での延焼脆弱性の検証および消火 活動と二方向避難の提案	2022年 6月	『日本建築学会近畿支部研究報告 集』第62号・計画系	田辺勇樹, 平尾和洋, 大 場修
50	平尾和洋	兵庫県津居山集落における漁家平面に関 わる類型とその考察	2022年 7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集 DVD』2022号	本田暁彦, 田崎幹大, 大 場修, 平尾和洋

51	平尾和洋	出石伝統的建造物群保存地区における建築単体での延焼脆弱性の検証 及び消火活動と二方向避難の提案	2022年 7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集 DVD』2022号	饗庭優樹, 田辺 勇樹, 平尾和洋, 大場修
52	平尾和洋	出石伝統的建造物群保存地区における町家の諸特性分析および延焼防止力向上を加味した修理修景基準改定への提案	2022年 7月	『日本建築学会大会学術講演梗概集 DVD』2022号	山田迪与, 中村魁, 平尾和洋, 大場修
53	福水洋平	Improved Facial Keypoint Regression Using Attention Modules	2022年3月	International Workshop on Frontiers of Computer Vision 2022	Rahul Vijay Soans and Yohei Fukumizu
54	福山智子	断面修復した鉄筋コンクリート梁における曲げ応力と弾性パラメータの関係	2022年9月	日本建築学会年次大会	
55	福山智子	炭素繊維含有量および含水状態がセメントペーストの一軸繰返し試験による圧電挙動に及ぼす影響	2022年9月	日本建築学会年次大会	
56	藤本将光	A Bayesian Model of Shallow Landslides Established by Extracting the Time-Series Features of Rainfall Event	2022年3月	3rd International Symposium on Risk Assessment and Sustainable Stability Design of Slopes	Isao Onishi and Masamitsu Fujimoto
57	藤本将光	Underground Water Level Change and Deformation Behavior on Slope Failure Initiation due to Rainfall	2022年3月	3rd International Symposium on Risk Assessment and Sustainable Stability Design of Slopes	Xin Qin, Masamitsu Fujimoto and Yoshifumi Satofuka
58	藤本将光	降雨時の斜面崩壊における地下水及び変形挙動に関する実験的検討	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	覃馨, 藤本将光, 里深好文
59	藤本将光	土層の透水性が斜面表層崩壊の崩壊深に与える影響	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	水野仁, 藤本将光, 川島直人, 西村翔太, 里深好文
60	藤本将光	道路斜面の土壌水分と土壌雨量指数の関係	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	林祐妃, 藤本将光, 山田由生, 宮崎祐輔, 小山倫史, 中井卓巳, 藤原康正, 岸田潔
61	藤本将光	山地斜面における基岩面地形と透水性分布の関係	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	柳井鴻太郎, 正岡直也, 小杉賢一朗, 藤本将光
62	藤本将光	改良型HYCYモデルを用いた山地源流域における降雨流出特性の解明	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	稲岡諄, 小杉賢一朗, 正岡直也, 糸数哲, 中村公人, 藤本将光
63	藤本将光	盛土対策工の排水性機構に関する実験的検討	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	西村翔太, 藤本将光, 原田紀臣, 長谷川翔平, 川島直人, 坂野大世, 川崎佑磨, 里深好文
64	藤本将光	景観に配慮した透過型砂防堰堤の土砂捕捉機能に関する研究	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	矢野隆宏, 里深好文, 藤本将光
65	藤本将光	網状鉄筋挿入工の水平耐力に関する実験的検討	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	川島直人, 藤本将光, 遠藤優斗, 原田紀臣, 小西成治, 疋田信晴,

					吉永憲次
66	藤本将光	コンクリートブロック堰堤の透水性とその機能に関する実験的検討	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会	藤本将光, 奥村勇太, 佐藤哲也, 橋口聡太郎, 神野忠広, 里深好文
67	藤本将光	盛土法面の土壌水分計測に基づくカルマンフィルタによるタンクモデルのパラメータ同定	2022年7月	第57回地盤工学研究発表会	阪谷天晴, 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤本将光, 山口弘誠, 岸田 潔
68	藤本将光	線状降水帯の影響を受けた土砂・洪水氾濫時の土砂生産に関する一考察	2022年7月	第57回地盤工学研究発表会	原田紹臣・木下悦男・藤本将光・里深好文・水山高久
69	藤本将光	DX推進に向けた貯水池周辺の地すべり安定解析(三次元)に関する一考察	2022年9月	第61回日本地すべり学会研究発表会	原田紹臣・藤本将光・小杉賢一朗・里深好文・水山高久・松井保
70	藤本将光	Parameter identification of tank model for embankment slope using Kalman Filter	2022年9月	11th International Symposium on Field Monitoring in Geomechanics	Yuusuke MIYAZAKI, Tensei SAKATANI, Tomofumi KOYAMA, Masamitsu FUJIMOTO, Kiyoshi KISHIDA
71	本間睦朗	自動調光による省エネ効果の項目別評価に関する研究	2022年9月	照明学会全国大会	高部航南・本間睦朗
72	本間睦朗	ABWを見据えたオフィス光環境に関する考察	2022年9月	照明学会全国大会	大田勇樹・本間睦朗
73	本間睦朗	SECIモデルによるABW導入オフィスの「場」の分析・考察	2022年9月	日本建築学会大会 学術講演会	山本理央・寶珍宏元・本間睦朗
74	本間睦朗	自動角度制御ブラインドを有する窓の光環境シミュレーションに関する研究 - IES ファイル形式による配光データ作成の検討 -	2022年12月	2022年 電気設備学会学生研究発表会	高部航南・本間睦朗
75	前田一馬	近代日本における「高原」の表象—雑誌『山』を中心とした予察的検討—	2022年5月	グローバル化とアジアの地域研究会 (オンライン)	前田一馬
76	前田一馬	市区町村スケールにおける別荘地の立地特性	2022年10月	第31回 地理情報システム学会研究発表大会 (ポスターセッション・オンライン)	前田一馬, 夏目宗幸
77	前田一馬	戦後沖縄における「スクラップ・ブーム」とその影響—人的被害のひろがりに着目して—	2022年11月	2022年人文地理学会大会	前田 一馬, 河角 直美, 加藤 政洋, 常本 亮太
78	宗本晋作	TOKIWA GARDEN	2022年11月	2022 BUGAIK International Architecture Exhibition, Architectural Institute of Korea,	宗本晋作
79	村中亮夫	新型コロナウイルス感染症流行下におけるGIS実習の実践と課題	2022年3月	第15回四国GISシンポジウム	米島万有子, 谷端郷, 村中亮夫
80	村中亮夫	スペースシンタックス理論に基づく地域住民のリスク認知の要因分析—京都府亀岡市篠町の道路構造に着目して—	2022年10月	立命館大学歴史都市防災研究所 2022年度第4回定例研究会	谷端郷, 村中亮夫, 中谷友樹

81	持田泰秀	比抵抗を利用した埋込み杭の根固め液の圧縮強度評価手法	2022年7月	第57回地盤工学研究発表会	長谷川 拓磨、藤井衛、薄葉 信、千種 信之、新名 正英、近藤 壮一郎、持田 泰秀
82	持田泰秀	PCa 工法と在来工法の材齢3年間におけるコンクリート表層性能の変化に関する研究 その1: 表層性能試験結果と材齢の関係	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	山田和輝、猪股史也、持田泰秀、坂田博史
83	持田泰秀	PCa 工法と在来工法の材齢3年間におけるコンクリート表層性能の変化に関する研究 その2: 水セメント比および含水率の影響と表層品質評価	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	猪股史也、持田泰秀、坂田博史
84	持田泰秀	木材の節の圧縮強度への影響に関する研究 ー能登ヒバの圧縮試験を通してー	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	猪口朝加、持田泰秀、船戸慶輔、宮田桂
85	持田泰秀	伝統木造建築の修繕工事に関する研究 ー柱基礎部材の修繕についてー	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	村松凌太、福井開人、持田泰秀
86	持田泰秀	既製コンクリート杭の現場施工品質確認のデータ送信に関する研究 ー土中のソイルセメントについてー	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	眞庭颯大、持田泰秀、足立壮之、佐藤朗、益原絆
87	持田泰秀	伝統木造建築の免震レトロフィット設計フローの提案	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	和田健吾、持田泰秀
88	持田泰秀	杭状地盤補強工法の開発 ー鉛直支持力の性能に関してー	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	持田泰秀、松本 洋
89	持田泰秀	埋込み杭の根固め液における比抵抗計測結果に基づく圧縮強度の評価	2022年9月	日本建築学会大会学術講演会	近藤 壮一郎、薄葉 信一、新名 正英、千種 信之、藤井 衛、長谷川 拓磨、持田 泰秀
90	持田泰秀	EXPERIMENTAL STUDY ON DATA TRANSMISSION USED FOR CONSTRUCTION QUALITY CONFIRMATION OF EMBEDDED PILE CONSTRUCTION METHOD	2022年11月	The Twelveth International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment, Bangkok, Thailand, from 22-24 November 2022.	Yasuhide Mochida, Tatsuki Maniwa
91	矢野桂司	コメント: 総合知に向けた人文社会科学データの観点から	2022年1月	公開シンポジウム「総合知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」	矢野桂司
92	矢野桂司	バーチャル京都を活用する	2022年3月	第16回CODHセミナー「まち」や都市のデジタルアーカイブ - 歴史ビッグデータと実世界での利活用	矢野桂司
93	矢野桂司	ジオデモグラフィクスからみた将来空き家の都市圏比較	2022年3月	2022年度日本地理学会春季学術大会	上杉昌也、矢野桂司
94	矢野桂司	Building GIS-based Place Name Directory of Japan for Promoting Spatial Humanities	2022年7月	UGI-IGU PARIS 2022	Keij Yano, Mikiharu Takeuchi, Ryo Kamata
95	矢野桂司	Construction of Open WebGIS for	2022年7月	UGI-IGU PARIS 2022	Mikiharu Takeuchi,

		Archaeological Sites in Kyoto			Keij Yano
96	矢野桂司	文化財防災研究や歴史災害研究への発掘調査データベースの活用	2022年7月	第16回歴史都市防災シンポジウム	武内樹治, 矢野桂司
97	矢野桂司	Japanese Old Maps Online for Promoting Digital Humanities	2022年7月	Digital Humanities Conference 2022	Keiji Yano、 Muneyuki Natsume、Satoshi Imamura、Ryo Kamata
98	矢野桂司	空間ビッグデータを用いた都市内人口分布の時空間的把握—「コロナ禍」の京都市を事例に—	2022年 11月	2022年人文地理学会大会	花岡和聖, 矢野桂司
99	山崎有恒	「明治維新と日本の戦後史再考」	2022年 10月	日本・台湾・韓国国際ワークショップ「明治維新の意味」	山崎有恒
100	山田悟史	深層学習を用いた伝統的建造物群保存地区の街路画像の分類	2022年7月	歴史都市防災論文集, vol.16, pp.57-64(論文), 2022.7, 歴史都市防災研究所	越智広樹, 山田悟史
101	山田悟史	カメラ映像に対する深層学習を用いた転倒検知の精度比較	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(建築計画), pp.1-2, 2022.9, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史
102	山田悟史	医療施設における傷病者受け入れスペース設営マニュアルの掲載内容に関する考察	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(建築計画), pp.409-410, 2022.9, 日本建築学会	江川香奈, 山田悟史, 依田育士
103	山田悟史	三種の深層学習を用いた建築デザインの類似性の可視化と参照関係の解釈	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(建築歴史・意匠), pp.247-248, 2022.9, 日本建築学会	谷川奈央, 越智広樹, 山田悟史
104	山田悟史	深層学習を用いた景観画像の特徴把握 伝統的建造物群保存地区と周辺地域を対象に	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.63-64, 2022.9, 日本建築学会	越智広樹, 山田悟史
105	山田悟史	VR空間における経路デザインが心理評価に与える影響	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.170-180, 2022.9, 日本建築学会	小池田樹, 山田悟史
106	山田悟史	MR空間のパーソナルスペースの個性が遠隔コミュニケーションの心理評価に与える影響	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.179-180, 2022.9, 日本建築学会	東田陽樹, 山田悟史
107	山田悟史	建築情報学の授業の理解と意欲に関するアンケート調査の報告	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.235-236, 2022.9, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史
108	山田悟史	トーテミズム・アーキテクチャー ノースリムの美と共鳴する大地の化身	2022年9月	日本建築学会大会(北海道)建築デザイン発表梗概集, pp.208-209, 2022.9, 日本建築学会	広中翔, 山田悟史
109	山田悟史	3Dデータを学習データとする深層学習を用いた分類器の現実空間への適用 人間には判別困難な差異を持つ物体の個体識別-	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: インタラクティブ発表 pp.42-43, 2022.12, 日本建築学会	越智広樹, 山田悟史
110	山田悟史	自然言語処理を用いた都市・建築の文字表現の類似性	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告	谷川奈央, 山田悟史

				pp. 148-151 , 2022. 12, 日本建築学会	
111	山田悟史	MR空間を用いたサイバーフィジカルシステム 空間接続表現の提案-	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp. 214-217 , 2022. 12, 日本建築学会	東田陽樹, 山田悟史
112	山田悟史	強化学習を用いたドローン点検経路の自動生成	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp. 68-71, 2022. 12, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史
113	山田悟史	コンテンツ生成AIが見せる拡張的なデザイン 認知拡張実験・異なるAIの比較・活用意向からー	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp. 439-442 , 2022. 12, 日本建築学会	原田真衣, 山田悟史
114	山田悟史	生理的反応を取り入れた没入型仮想環境におけるデザイン生成システムの提案 Breathing Design Systemの開発と活用事例-	2022年12月	第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ発表 pp. 41, 2022. 12, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史
115	山本理佳	ヘリテージをめぐる観光空間へのアプローチ	2022年6月	人文地理学会 観光空間研究部会	
116	山本理佳	観光における「リズム」と空間—COVID-19を契機とした時間地理学的視点への着目	2022年7月	観光学術学会	
117	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Canales prehispánicos en áreas urbanas: Problemas y posibilidades del canal Lati en Lima, Perú	2022年6月	日本ラテンアメリカ学会 第43回定期大会	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ
118	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Social Memory and Public Archaeology: Challenges of Connecting the Past and the Present in Peru	2022年7月	World Archaeological Congress 9	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante, SEKI Yuji
119	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Making the Past Public: Challenges and Possibilities for Archaeological Collections	2022年7月	World Archaeological Congress 9	MAMANI QUISPE, Stefani, SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
120	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	連結する文化遺産：ペルー都市部における先史時代の道と水路をめぐる問題と可能性	2022年 12月	古代アメリカ学会 第27回研究大会	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ
121	SHAKYA Lata	Disaster Risk Management on Educational Institutes and Its Role for Emergency Response Towards the Local Community	2022年2月	13th NEAJ Symposium on Current and Future Technologies	Ram Shrestha and Lata Shakya
122	SHAKYA Lata	Issues on conservation and sustainability of Baha Bahi (Buddhist monasteries) of Nepal mandala	2022年3月	A Buddhist Conference on "History, Culture and Practices in Baha Bahi of Nepalmandala"	サキヤ ラタ

123	SHAKYA Lata	歴史都市の伝統的空間と災害対応マネジメントーネパールのパタン旧市街地を中心にー	2022年5月	歴史都市防災研究所 2022年度第2回定例研究会	サキヤ ラタ
124	宮崎 彩	世界遺産保全メカニズムにおけるボトムアップアプローチ：メキシコ市歴史地区における3層のアクター	2022年12月	文化資源学会 第12回博士号取得者研究発表会	
125	白石陽子	How Safe Community programs can make our communities where people with vulnerability are well cared	2022年10月	第25回世界セーフコミュニティ会議・第10回アジア地域セーフコミュニティ会議	白石陽子
126	林 祐妃	道路斜面の土壌水分と土壌雨量指数の関係	2022年5月	令和4年度砂防学会研究発表会「宮崎大会」	林祐妃, 藤本将光, 山田由生, 宮崎祐輔, 小山倫史, 中井卓巳, 藤原康正, 岸田潔

4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第16回歴史都市防災シンポジウム	オンライン開催 (Zoom)	2022年7月	150名	
2	INTERNATIONAL TRAINING COURSE (ITC) on DISASTER RISK MANAGEMENT of CULTURAL HERITAGE 2022, 16th year Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM [Online]	オンライン開催 (Zoom)	2022年8月～9月	15名	ICCROM

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）

No.	氏名	研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間
1	青柳憲昌	「この人に聞く 第158回 法隆寺の昭和の大修理から学ぶ建造物の保存活用 青柳憲昌氏」『建築士』(833号)、2022年2月号、日本建築士会連合会、pp.4-7	単独	『建築士』	2022年2月
2	青柳憲昌	朝日新聞「収蔵庫 文化財防災の象徴」朝日新聞(全国版) 2022年3月30日29面(誌面にコメント掲載)	単独	朝日新聞(全国版)	2022年3月
3	青柳憲昌	「新刊紹介 光井渉著『日本の歴史的建造物社寺・城郭・近代建築の保存と活用』青柳憲昌、『建築史学』(78号) 2022年3月、pp.185-188	単独	『建築史学』	2022年3月
4	青柳憲昌	『豊岡市出石伝統的建造物群保存地区防災計画』豊岡市出石振興局地域振興課・立命館大学歴史都市防災研究所他編、豊岡市発行、2022年3月、pp.27-45、pp.161-163	共同	『豊岡市出石伝統的建造物群保存地区防災計画』	2022年3月
5	青柳憲昌	「西陣寺之内通の町家——無名文化財の活用のしかた」青柳憲昌・是永美樹『住宅建築』2022年6月号、pp.102-111	共同	『住宅建築』2022年6月号	2022年4月
6	青柳憲昌	「国立京都国際会館 台形+逆台形の架構表現と『日本的なもの』」『構造デザインマップ関西』総合資格学院、2022、pp.142-143	単独	『構造デザインマップ関西』総合資格学院	2022年5月

7	青柳憲昌	北海道新聞「コンクリート寺院・仏舍利塔 大正初期函館に日本初RC造」『北海道新聞』2022年6月23日9面（誌面にコメント掲載）	その他	北海道新聞	2022年6月
8	青柳憲昌	「鉄骨住宅の反省から伝統構法の批判的合理化へ」青柳憲昌 『広瀬鎌二建築展SH+第5回 カタログ』広瀬鎌二アーカイブズ研究会、2022、pp.22-27	単独	『広瀬鎌二建築展SH+第5回 カタログ』広瀬鎌二アーカイブズ研究会	2022年11月
9	青柳憲昌	「三者三様 織屋建を訪れて」令和4年度ぶんぶんカフェイベント③、西陣寺之内通の町家フィールド調査解説、古材文化の会主催、2022年11月26日	共同	西陣寺之内通の町家	2022年11月
10	青柳憲昌	「出雲大社の『千木』——「道具」以前の、想像を超えるつくりかた」青柳憲昌、『建築士』、日本建築士会連合会発行、2023年1月号、表紙見返し	単独	『建築士』	2022年12月
11	阿部俊彦	JR茨木駅西口周辺まちづくりワークショップ 運営支援	単独	茨木市	
12	阿部俊彦	国土交通大専攻 専門課程 建築計画（企画・設計）研修 講師	単独		
13	阿部俊彦	スポーツ健康科学総合研究所シンポジウム「都市とスポーツ」	共同		
14	阿部俊彦	都市環境デザインセミナー「都市と建築をつなぐアクションリサーチ」講演	単独		
15	阿部俊彦	震災復興まちづくり訓練 第1回訓練 講演	単独		
16	阿部俊彦	Disaster Restoration of Port Town Triggered by Opposition to the Construction of Seawalls @AIA NY DfRR	単独		
17	阿部俊彦	UDCBK アーバンデザインスクール（前期）第1回講演 第2～5回のコーディネーター	単独		
18	大窪健之	「Disaster Risk Preparedness and Mitigation for Built Heritage」	単独	Disaster Risk Management Plan for the Nuestra Senora de Caysasay Church and its Associated Structures	2022年2月
19	大窪健之	“Kakekomi-dera” or sanctuaries in 311 Tsunami - Heritage sites used as temporary shelters -	単独	The 2022 International Symposium of Asia-Japan Research, Webinar	2022年2月
20	大窪健之	「Project for Protecting Historic District of Traditional Wooden Buildings from Fires due to Earthquakes in Kiyomizu, Kyoto」	単独	Expert Session 「Resilience of Historic House Museums and their Collections to Risks posed by Climate Change, Environmental Disasters and Conflict Zones」 26th ICOM General Conference	2022年8月
21	大窪健之	1995年阪神・淡路大震災直後の対応と課題～その時何が起っていたのか～	単独	さんのみや防災のチカラ	2022年9月

22	大窪健之	JICA 課題別研修【世界遺産の適切な管理を通じた観光振興】	単独	JICA 課題別研修	2022年10月
23	大窪健之	「伝統的な街並みが備える防災資源の再評価」	単独	立命館大学・土曜講座	2022年11月
24	大窪健之	「街頭消火器の配置計画の検討」	共同	加悦重伝建地区「防災学習会」	2022年11月
25	鐘ヶ江秀彦	27th Pacific Conference of the RSAI in 2022 Kyoto 国際地域学会環太平洋地域学機構国際大会 2022 を主催	共同	オンライン	2022/8/1-8/4
26	鐘ヶ江秀彦	国際シミュレーション&ゲーミング学会・第1回国際S&G設計開発競技会（ISGC2022）の審判評議委員長	共同	チュラロンコン大学（最終競技会場）・世界各區地	2022/7/1-9/3
27	鐘ヶ江秀彦	インドネシア政府による地方公務員派遣（4名）による地域の環境防災課題解決のための国際共同研究の主催	共同	歴史都市防災研究所	2022/10/16-11/12
28	鐘ヶ江秀彦	インドネシア政府国家開発計画省国際共同研修（27名）の主催 「レジリエントで持続可能な発展のための次期長期国家開発計画策定」	共同	歴史都市防災研究所・大阪いばらきキャンパス・東京キャンパス	2022/11/30-12/14
29	金 度源	豊岡市出石重要伝統的建造物群保存地区防災計画	共同	2020年4月～2022年8月	
30	高橋 学	書評：『気候変動から読みなおす日本史 第3巻 先史・古代の気候と社会変化』	単独	古代文化 73-4 132-134	
31	夏目宗幸	デジタル地図用語集（分担執筆）			
32	前田一馬	百年前の避暑客はどこへ遊びに出かけていたのか？	単著	『軽井沢ヴィネット』（130）, 軽井沢新聞社, 108-109	2022年4月
33	前田一馬	昭和戦前期における旧軽井沢銀座の夏季出張店	単著	『軽井沢ヴィネット』（131）, 軽井沢新聞社, 110-111	2022年7月
34	前田一馬	『写真資料にみる1950年代沖縄の社会と景観』	共著	河角直美研究室・加藤政洋研究室・立命館大学文学部	2022年8月
35	持田泰秀	大規模障害者施設の長期保全計画の立案	共同		2021年4月～ 2022年3月
36	矢野桂司	Interactive workshop: “Sustainable Geodesign of Alexandria, Egypt vision 2030 “	共同	E-JUST	2022/11/29-30
37	山田悟史	建築情報学会 短期集中型オンラインワークショップ「Fes」の運営	共同	コンピューショナルデザインの要であるデザインの変数について思考及び実装すること目的とした「Fes」に運営として参加。CODING+MAKINGでは参加者の相談役を担当。	2022年4月～ 2022年4月
38	山田悟史	南草津駅西口にてこだわり滋賀ネットワーク☆南部甲賀支部の主催する「第1回こだわりマルシェ」への制作物の出展	共同	2021年度CAD/CG演習で制作した段ボール家具等を出展し、段ボール家具の避難生活への活用などに関して簡易ヒアリングを実施。	2022年5月
39	山田悟史	立命館大学びわこくさつキャンパスにてワークショップ「文化財がなぜ大切かを体験的に学ぶ	共同	文化遺産の大切さを体験的に学ぶカリキュラム・教材開発に関する	2022年7月

		一斗供を例にした木割法・木組一」を実施		研究の一環として、児童を対象に「ほぼ実寸の段ボール斗供」と「3Dプリンターによるミニチュア斗供」を用いて授業を開催。	
40	山田悟史	建築情報学会 Challenge 2022「画像生成AI」の開催支援	共同	AIの創造性や人間とAIによるコラボレーションの可能性を思考する場として、コンテンツ生成AIを活用した企画 Challenge 2022「画像生成AI」の開催を支援。	2022年11月～ 2022年12月
41	山田悟史	東近江市鉢光寺町弘誓寺にてワークショップ「文化財がなぜ大切かを体験的に学ぶ 一斗供を例にした木割法・木組一」を実施	共同	文化遺産の大切さを体験的に学ぶカリキュラム・教材開発に関する研究の一環として、児童を対象に「ほぼ実寸の段ボール斗供」と「3Dプリンターによるミニチュア斗供」を用いて授業を開催（2022年11月19, 26日）。	2022年11月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	青柳憲昌	建築史学会	建築史学会賞	『日本近代の建築保存方法論——法隆寺昭和 大修理と同時代の保存 理念』青柳憲昌、中央 公論美術出版、2019	2022年4月
2	阿部俊彦	復興デザイン会議	復興計画賞		2022年
3	阿部俊彦	土木学会	デザイン賞 優秀賞		2022年
4	金 侖美	大韓建築学会	優秀発表論文賞	リング試験体を用いたコンクリートと 補修材の変形適合性評価	2022年10月
5	金 侖美	日本コンクリート工学会	年次論文奨励賞	導電性セメント硬化体の一軸繰返載荷 によるひずみ変化と電氣的応答特性	2022年7月
6	金 侖美	日本コンクリート工学会 近畿支部	近畿支部奨励賞	セメント系材料へのカーボンナノチューブ分散に関する検討 日本コンクリート工学会近畿支部	2022年5月
7	桜井政成	日本NPO学会	優秀賞	『福祉NPO・社会的企業の経済社会学：商業主義化の実証的検討』	2022年6月
8	夏目宗幸	地理情報システム学会	ポスターセッション賞	旧高旧領取調帳と農業集落境界データ による近世村領域推定	2022年10月
9	福山智子	大韓建築学会	優秀発表論文賞	リング試験体を用いたコンクリートと 補修材の変形適合性評価	2022年10月
10	福山智子	日本コンクリート工学会	年次論文奨励賞	導電性セメント硬化体の一軸繰返載荷 によるひずみ変化と電氣的応答特性	2022年7月
11	福山智子	日本コンクリート工学会近畿支部	近畿支部奨励賞	セメント系材料へのカーボンナノチューブ分散に関する検討	2022年
12	宗本晋作	the Pritzker Military Museum & Library	COLD WAR VETAN MEMORIAL INTERNATIONAL	Eternal Circulation	2022年

			COMETITION (最終4選)		
13	矢野桂司	人文地理学会	学会賞 (一般図書部門)	矢野桂司『GIS 地理情報システム (やさしく知りたい先端科学シリーズ 8)』創元社, 2021 年	2022 年 11 月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	大場修	図説付小屋と民家の系譜	研究成果公開促進費 (学術図書)	2023 年 4 月	2023 年 12 月	代表
2	金侖美	補修した RC 梁の再劣化防止を目的としたコンパチビリティ評価モデルの構築	若手研究	2023 年 4 月	2026 年 3 月	代表
3	夏目宗幸	江戸幕府による地域掌握と開発過程の解明	若手研究	2023 年 4 月	2027 年 3 月	代表
4	前田一馬	高原の誕生—近現代の日本における新たな風景の発見—	若手研究	2023 年 4 月	2025 年 3 月	代表
5	山田悟史	深層学習を基盤とするコンテンツ生成型 AI と人間の共創	基盤研究(C)(一般)	2023 年 4 月	2027 年 3 月	代表
6	矢野桂司	谷岡武雄写真資料のデジタルアーカイブ	研究成果公開促進費 (データベース)	2023 年 4 月	2025 年 3 月	代表
7	吉富信太	建築構造物の部分損傷推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	基盤研究(B)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	阿部俊彦	地方都市中心市街地における防災建築街区の再生に関する研究—滋賀県彦根市銀座商座商店街を事例として—	都市再生研究助成	2020 年 10 月	2022 年 3 月	代表
2	夏目宗幸	江戸幕府による農村開発モデルの解明	笹川科学研究助成	2021 年 4 月	2022 年 2 月	代表
3	福水洋平	行動解析による画期的な個人対応型 AI 見守りロボットの開発	戦略的基盤技術高度化支援事業	2019 年	2022 年	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	大窪健之	地域防災情報システム	本学共同者	その他	2020-070342			日本
2	大窪健之	消火用ノズル	本学共同者	筆頭発明者	2014-206815			日本
3	福水洋平	二次元コード、生成装置、読取装置、及び、コンピュータプログラム	本学以外	その他	特願 2021-127832			日本

4	藤本将光	透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
5	藤本将光	土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本
6	持田泰秀	水硬性固化材液、水硬性固化材液の調整方法、及び、置換柱体の築造方法	本学以外	その他		特開 2021-095320	特開 2021-095320	日本